

「行動医学研究」投稿規定（2026年7月1日現在）

1. 本誌は、行動医学に貢献する論文（総説、原著、症例報告、資料および短報）で、他誌に発表されていないものを掲載する。
2. 筆頭著者および代表著者は一般社団法人日本行動医学会会員に限る。ただし、編集委員会からの依頼論文の場合は除く。
3. 論文の採否は、原則として独立した2名の専門家によって査読され、編集委員会が最終的に決定する。
4. 人を対象とする研究報告はヘルシンキ宣言（1964年採択、1975、1983、1989、1996、2000、2002、2004、2008、2013年改訂）の精神に則ったものでなくてはならない。
5. 実験動物を用いた研究報告は、各施設の動物実験指針に則って行われたものとする。
6. 本誌に掲載された論文等の著作権は一般社団法人日本行動医学会に帰属する。
7. 原稿の様式は次のとおりとする。
 - (1) 原稿は和文または英文とする。
 - (2) 原稿の表紙には表題、著者名、所属機関名、代表著者の通信先（以上和英文）、原稿の種類、表および図の数、人工知能（AI）支援技術の使用の有無を書く。
 - (3) 原稿は原則として Microsoft Word を用い A4 判用紙 30 字 × 25 行（750 字）横書きとする。短報以外の論文には、英文抄録（200 語以内）および和文要旨（A4 用紙 2 枚・1,500 字以内）を、短報には和文要旨（同、750 字以内）をつける。
 - (4) 英文原稿の場合も短報以外の論文には、英文抄録（200 語以内）および和文要旨（A4 用紙 2 枚・1,500 字以内）を、短報には和文要旨（同、750 字以内）をつける。
 - (5) 英文はすべて A4 判用紙にダブルスペースでタイプする。
 - (6) 原稿の各ページの左側に行番号を入れる。
 - (7) 短報以外の原稿枚数は図表を含めて 25 枚以内、短報では 5 枚以内とする。なお、査読修正により原稿枚数が増える場合はこの限りではない。
 - (8) キーワード（英語で 10 語以内）は、総説、原著、症例報告、資料では英文抄録のあとに、短報では表紙の英文タイトルのあとにつける。和訳を、和文要旨のあとにつける。
 - (9) 図表は原則として英文とするが、著者の判断で和文も可とする。ただし、論文内の図表はすべて同じ言語で統一し、英文と和文の図表が混在しないようにする。図の表題は別に A4 判用紙にダブルスペースでタイプする。また、本文中に図表が挿入されるべき位置を明示しておく。写真は、白黒では 1,200 dpi、グレースケールでは 300 dpi の解像度を必要とする。
 - (10) 引用文献は、引用順に番号をつけて最後に一括し、下記の記載例の形式で記す。本文中にも、「知られている¹⁾」または「...^{2,3)}」のように文献番号をつける。著者が 7 名以上の場合は最初の 6 名を記し、以降を「他」もしくは“et al.”とする。和文学術誌は略号を用いず、英文学術誌は略号する場合、国際的な慣行に従って省略する。DOI が付与されている文献については記載する。行政資料やガイドライン等のオンライン文献については URL とアクセス日を付記する。

【記載例】

〈学術雑誌〉著者名. 表題. 雑誌名 発行年（西暦）；巻：頁－頁。

- 1) 岡村尚昌, 津田 彰, 矢島潤平, 堀内 聡, 松石豊次郎. 睡眠時間は主観的健康感及び精神神経免疫学的反応と関連する. 行動医学研究 2009; 15: 33–40. doi:10.11331/jjbm.15.33.
- 2) 田川隆介, 保坂 隆, 大須賀等, 大枝泰彰, 杉田 稔, 日野原茂雄, 他. A 型行動パターンと虚血性心疾患—冠動脈所見における検討. 心身医学 1984; 24: 203–8. doi:10.15064/jjpm.24.3_203.
- 3) Shimazu A, Schaufeli WB, Taris TW. How does workaholism affect worker health and performance? The mediating role of coping. Int J Behav Med 2010; 17: 154–60. doi:10.1007/s12529-010-9077-x.
- 4) Nakata A, Takahashi M, Haratani T, Ikeda T, Hojou M, Fujioka Y, et al. Association of active and passive smoking with sleep disturbances and short sleep duration among Japanese working population. Int J Behav Med 2008; 15: 81–91. doi:10.1080/10705500801929577.

〈単行本〉著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地：発行所, 発行年（西暦）：引用頁－頁。

- 5) 鈴木仁一. 循環器系. 樋口正元 編. 情動のしくみと心身症—基礎から臨床まで. 東京：医歯薬出版, 1982: 59–63.
- 6) Kasl SV. Stress and disease in the workplace: a methodological commentary on the accumulated evidence. In: Cataldo

MF, Coates TJ, eds. Health and industry: a behavioral medicine perspective. New York: John Wiley & Sons, 1986: 52–85.
〈行政資料・ガイドライン〉

- 7) 厚生労働省. 令和4年労働安全衛生調査(実態調査)の概況. 2023. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list46-50.html> (アクセス日: 2024年6月17日).
- 8) 日本循環器学会/日本心臓リハビリテーション学会. 2021年改訂版 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン. https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021_Makita.pdf (アクセス日: 2024年3月19日).

〈学位論文〉

- 9) 杉本ゆかり. 継続受診行動の意思決定メカニズムに関する実証実験. 中央大学大学院戦略経営学研究科; 博士論文. 2019.

上記の記載例は、近年の医学系投稿規定における国際的基準 International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) Recommendations に準じた。雑誌名の略記は、次の WEB サイトなどで確認すること。

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

8. 原稿の作成に大規模言語モデル、チャットボット、画像作成ツールなどの AI 支援技術を利用した場合の取扱いは次のとおりとする。

- (1) AI 支援技術は、著作物の正確性、完全性、独創性に責任を持つことができず、ICMJE の著者資格の基準を満たしていないため、これらの技術を著者または共著者として記載することを認めない。
- (2) AI 支援技術によって生成されたデータや文言、画像については、剽窃の可能性も含めて注意深く確認・編集するとともに、提出された原稿のいかなる資料に関しても、その一切の責任を著者(人間)が負うものとする。
- (3) AI 支援技術をデータの収集・分析、画像や図表の作成に使用した場合は「方法(Methods)」のセクションで、論文の執筆支援(文章の生成や再構成、要約、解釈の補助等)に使用した場合は「謝辞(Acknowledgements)」で、それぞれ開示しなければならない。論文の執筆支援のうち、誤字・脱字の修正、翻訳、文法またはスペルチェックなど、研究内容に影響しない範囲での補助的な使用については、原則として開示を求めないが、著者が開示を希望する場合、または編集委員会が必要と判断した場合には「謝辞(Acknowledgements)」に記載することができる。

9. 査読終了後、最終原稿提出時には表紙、本文、引用文献、図表ともにオリジナルファイル(MS-Word、Excel、PowerPoint 等)を添付する。

10. 著者校正は1回とする。

11. 原稿は、原則として電子メールにより投稿すること(2013年3月より)。原稿は、すべての内容(表紙、本文、引用文献、図表を含む)を1つのPDFファイルにまとめ、編集事務局宛に(jjbm2020edit@gmail.com)送付すること。

【投稿ならびに問合せ先】

〒160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3F

(株)ヒューマン・リサーチ内

一般社団法人日本行動医学会「行動医学研究」編集事務局宛

TEL 03-3358-4001 FAX 03-3358-4002

12. 投稿の際に著者全員は、一般社団法人日本行動医学会「医学研究の利益相反(COI)に関する指針」の規則で定める期間における発表内容に係る企業・組織や団体との潜在的利益相反(COI)状態の有無を、「日本行動医学会誌 自己申告によるCOI報告書」(様式2)に記載し、理事長に郵送ないし電子メール添付(PDFにスキャンした様式2)で提出する。様式2は学会ホームページからダウンロードすることができる。

【自己申告によるCOI報告書の提出先】

〒160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3F

(株)ヒューマン・リサーチ内

一般社団法人日本行動医学会事務局宛

TEL 03-3358-4001 FAX 03-3358-4002

e-mail: jjbm2020edit@gmail.com